

6 京交協第43-4号
平成26年8月11日

京都府交通対策協議会各協力機関の長様

京都府交通対策協議会会长
京都府知事 山田 啓二

平成26年秋の全国交通安全運動の推進について（依頼）

平素は、交通安全対策の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、既に御承知のとおり、昨今、「危険ドラッグ」（脱法ドラッグ）の乱用者が罪を犯したり、交通事故を引き起こしたりする事案が発生するなど、深刻な社会問題となっています。

このような中、本年も別添のとおり平成26年秋の全国交通安全運動が実施されますので、貴機関におかれましては、交通事故の更なる減少に向けて、各種交通安全活動の際に「危険ドラッグ」使用による運転の悪質性・危険性に関する広報啓発活動についても御配意をいただき、引き続き住民等の交通安全意識の高揚につながる交通事故防止対策を効果的に推進していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

事務局	京都府府民生活部 安心・安全まちづくり推進課内
電話	075-414-4367
FAX	075-414-4255
E-mail	anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

64317



平成26年 秋の全国交通安全運動 京都府実施要綱



運動の目的

広く府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、府民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図る。



運動スローガン

『 秋空に 無事故を誓う 京の道 』



実施期間

- ◆ 平成26年9月21日（日）から9月30日（火）までの10日間
- ◆ 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日（火）



運動重点

- ◆ 運動の基本～子どもと高齢者の交通事故防止
- ◆ 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆ 飲酒運転の根絶
- ◆ 二輪車の交通事故防止



京都府交通対策協議会



全重点共通

【実施機関等では】

- ◇ 地域、関係団体等と連携、協力し、参加・体験・実践型の交通安全教室の開催を促進しましょう。
- ◇ 朝礼、研修などの機会を利用し、交通事故の発生状況に関する情報提供を行う等、交通事故防止に関する啓発活動を推進しましょう。
- ◇ 運動会、敬老会など地域で行うイベントを通じて、身近なところから、交通事故をなくすための取り組み（広報啓発）を行いましょう。
- ◇ ポスターやチラシの作成、掲示など、積極的な広報活動に努めましょう。

【家庭等では】

- ◇ 自治体や警察、関係機関・団体等が開催する交通安全教室やイベントへ積極的に参加しましょう。
- ◇ 地域（家庭や学校等）の中で、身近な交通の危険について話し合い、交通事故に遭わないためのポイントについて確認しましょう。

子どもと高齢者の交通事故防止

- ◇ 実施機関等では、保護者、保育士、教師等と連携し、子どもと保護者が一緒に学ぶ交通安全教室等を開催して、子どもの安全な通行方法に関する理解を深めましょう。
- ◇ 実施機関等では、加齢に伴う身体機能の低下を高齢者自身に認識してもらう取り組みを実施するとともに、高齢者に対しては、地域性に応じた効果的な交通安全に関するアドバイスをしましょう。
- ◇ ドライバーは、通学路等において、また、子どもや高齢者を見かけたら「スピードを落とす」「先をゆづる」など、思いやりのある運転を心がけましょう。

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）

- ◇ 夕暮れや夜間の外出時に反射材を身につけ、または明るい服装をするよう心がけましょう。
- ◇ 自転車利用者は、早めの前照灯の点灯を心がけましょう。
- ◇ 家庭や職場では、安全な自転車の乗り方（「自転車安全利用五則」などの基本的ルール）を再確認するとともに、自転車の整備・点検を行いましょう。

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ◇ 家庭や職場では、シートベルト・チャイルドシートの着用（使用）の必要性について、話し合い、正しい着用（使用）を習慣づけましょう。
- ◇ ドライバーは、チャイルドシート使用の必要性等を理解し、乳幼児等を同乗させる場合は、必ず体格に合ったチャイルドシートを使用させましょう。

飲酒運転の根絶

- ◇ 家庭や職場では、「飲酒運転の危険性」や「社会的責任の重大さ」、「命の尊さ」などを話題に取り上げ、飲酒運転根絶に努めましょう。
- ◇ 実施機関等では、「ハンドルキーパー運動」を広報するとともに、酒類販売店・提供店に参加を呼びかけ、地域ぐるみで飲酒運転を許さない環境づくりを促進しましょう。



二輪車の交通事故防止

- ◇ 家庭や職場では、二輪車の特性に対する理解を深めるための取り組みを実施しましょう。
- ◇ 二輪車等の運転者は、長時間のツーリング等では、ゆとりを持った計画を立てるとともに、適時休憩をとり、安全走行をするよう心がけましょう。
- ◇ 実施機関等では、ヘルメットの重要性を改めて広報するとともに、あごヒモをしっかり締める等、正しい着用の普及に努めましょう。